

高感度スペクトル分光検出器搭載 多光子レーザー顕微鏡セミナー

新しい高感度スペクトル分光ユニットを搭載した
多光子レーザー顕微鏡について、多様な機能をご説明いたします。

マルチフォトンレーザーを用いた画像取得の大きな問題の一つは、一つの励起波長で、多重染色した全ての蛍光が一度に励起されてしまい、蛍光のかぶりが発生することです。

LSM780NLOでは、高感度の32ch GaAsP検出器 + 2ch PMT を搭載し、一回のレーザー照射ですべての蛍光波長を同時に分離(分光)検出することで、この問題を解決できます。これにより、生きたサンプルへのダメージはもとより、長時間にわたるタイムラプスでの分光イメージングも可能です。もちろん、外部検出器にもGaAsP検出器を装備することで、感度を必要とする厚みのあるサンプルへの対応もできます。

非常に簡単に設定ができ、光軸などを調整することなく使っていただけるマルチフォトンレーザー顕微鏡についての技術セミナーを行いますので、是非この機会にご参加ください。

《テクニカルセミナー》 日時： 2月28日(火) 14:30～(1時間程度)

事前予約不要

場所： 山手3号館2階西 共通セミナー室

演者： カールツァイスマイクロスコピー(株) 山口雅子
基生研 光脳回路研究部門 教授 松崎政紀
コヒレント・ジャパン 目 喜直

《機器デモ》

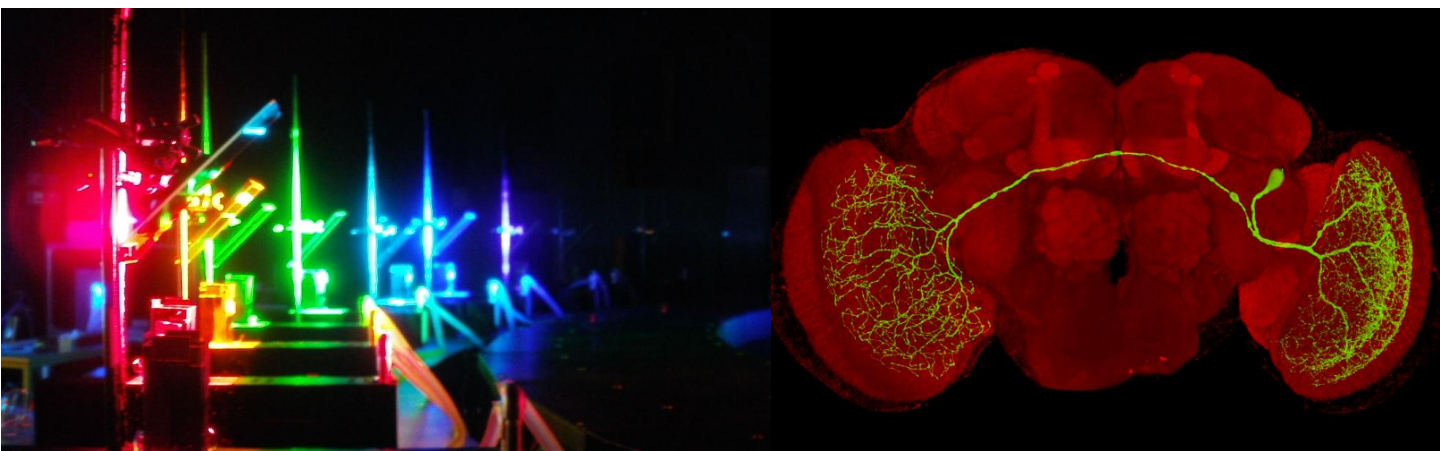
要事前予約

展示機器： LSM780 (注:二光子顕微鏡ではありません)

展示日時： 2月28日(火)～3月2日(金) 28日:セミナー後-17:00
29日-2日:10:00-17:00

展示場所： 山手3号館5F東暗室 (FV1000の部屋)

※ 事前に光学解析室までお申し込みください。飛び入りも歓迎します(予約優先)



お問い合わせ:

生物機能解析センター 光学解析室 : img@nibb.ac.jp 内線7630

ZEISS

We make it visible.